

SECTION 2 第2講～第4講

この章では、「決め方」を実際に学んでいきます。扱う決め方は、①プロコン表、②総合評価法、③決定木の3つです。それぞれの決め方を学んだ後、しくじり先輩のケーススタディを用いて練習します。

授業の目的

- ① 3つの決め方のフォームを理解し、使えるようになる
- ② 各場面でどの決め方を用いればよいかを判断し、あてはめることができる

授業のゴール

- ① 3つの決め方の例から、決め方を使えるようになる
- ② しくじり先輩の例から、場面によって適切に決め方を用いることができる

内容について：3つの決め方

この章で扱う3つの決め方について、詳細な手順の説明は生徒用テキストに記載していますが、それぞれの決め方のポイントや指導の際に注意していたきたい点などを以下にまとめます。

①プロコン表 (生徒用テキスト：P22、23)

決めたいことについて、賛成意見・反対意見をそれぞれ書き出し、整理・比較する決め方です。何かをする・しないなど、2つの選択肢のうちどちらにするかを決めるときに使用でき、文理選択の場面などで活用することができます。プロコン表を使用するうえでのポイントは、意見をできるだけ多く出すことです。自分の持っている情報や考えを紙に書いていくことで、頭の中が整理され、比較しやすくなります。授業時間内では難しいですが、生徒が実際に使用する場合は、数日かけてじっくりと意見を出し尽くすよう指導してください。

②総合評価法 (生徒用テキスト：P24、25)

3つ以上の選択肢を、いくつかの判断基準を用いて評価していく方法です。複数の選択肢を比較できるため汎用性が高く、客観的な情報も自分の主観的な考えも表に取り入れやすいため、納得感を高めやすい決め方です。一方で、表の軸である判断基準や選択肢を書き出すのは意外と難しく、奥が深い方法でもあります。本プログラムでは次の章から判断基準や選択肢について深く考えていきますので、この時点で生徒が進路についての考えをうまく表で書いていなくても問題ありません。

総合評価法は、学部学科選びや科目選択、部活動選びなどに利用できます。

③決定木 (生徒用テキスト：P26、27)

それぞれの選択肢からどんな結果に分岐していくかを書き出し、それらの起こりそうな確率とリターンから、最もよさそうな選択肢を考える決め方です。数値をもとに考えるため、リサーチの結果を強く反映でき、また3つの決め方の中では最も論理的な方法です。一方で、生徒によっては少し考え方が難しい部分もあり、また使用する確率やリターンを決定することが難しい決め方でもあります。こういった考え方に慣れることで、物事を論理的・構造的に考える訓練にもなるでしょう。生徒がこの決め方を使う際は、選択肢から結果の分岐を考えるのをサポートしたり、確率やリターンを考えるためにどのようなリサーチが必要になるか、アドバイスをするようにしてあげてください。

決定木は、大学選びや入試方式などを、合格可能性を考慮して決める場面などで利用できます。

授業案

50分×3コマの授業を想定しています。授業案の中での時間設定はあくまでも目安であり、特にワーク時間は生徒によって異なります。適宜時間を調整してください。

第2講 準備物：生徒用テキスト、プロコン表シート（1人1枚）

項目	内容	時間	テキスト	スライド	留意点
1. 講義	プロコン表の説明、例	10分	P22~23	1~10	<ul style="list-style-type: none"> 文系理系の例をもとに、プロコン表の使い方を説明する
2. ワーク	プロコン表の練習1 優柔不断な男	10分	P28	11~13	<ul style="list-style-type: none"> 歴史上の人物の結婚に関する問題を通じて、プロコン表の練習をさせる 例題での説明のように、それぞれの意見に重み付けを行い、それぞれの意見を相殺することで、決め手となる意見を浮かび上がらせる 問題の設定として時代背景が古いため、そこまで深く考えずに直感で重み付けをしてよいことを伝える ワークが終了したら生徒に結果を発表してもらい、生徒が多様な考え方を取り入れられるよう促す
3. ワーク	プロコン表の練習2 部活動と勉強の狭間で悩む	15分	P30	14~19	<ul style="list-style-type: none"> 「部活動が続けるかやめるか」という問題を通じて、実際に自分で賛成意見・反対意見を書き出す練習をさせる プロコン表シートを用いて行う 練習問題で賛成・反対意見が中々出ない生徒に、色々な意見を伝え、フォローする 意見が中々出ない生徒が多い場合には、ペアやグループで意見を出しあってもよい ワークが終了したら生徒に結果を発表してもらい、生徒が多様な考え方を取り入れられるよう促す
4. ワーク	文系・理系のメリットデメリット	15分	P29	20	<ul style="list-style-type: none"> 文理選択を題材にして、自分の実際の進路にプロコン表を取り入れる 意見が出ない生徒が多いことが考えられるので、意見を出す段階ではペアやグループで意見を出し合わせる

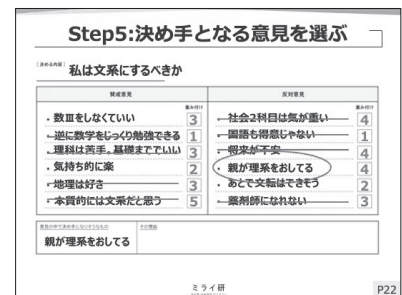
スライド例（全20枚）



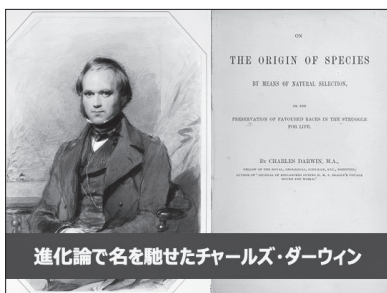
スライド1



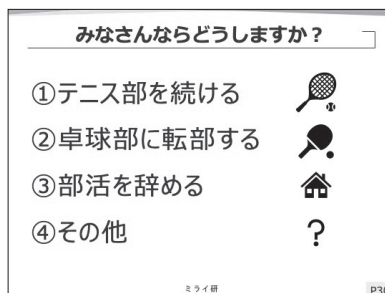
スライド4



スライド10



スライド11



スライド15



スライド20